

平成31年度 人事異動及び組織機構の改正について

「心の通う温かい県政」を基本姿勢としながら、「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現に向け、「県民総活躍」、「産業イノベーション」、「若者の希望実現」、「健康安心社会」、「県土強靱化」の5つを県政運営の基盤として各種施策を力強く推進し、「やまがた創生」を拡大・加速するため、平成31年4月1日付けで人事異動及び組織機構の改正を以下のとおり行う。

I 人事異動の基本方針

人事異動に当たっては、組織の活性化と職員の士気高揚に意を用いながら、個々の職員の能力が最大限発揮されるよう、次の点に留意した。

- 1 適材適所の原則に立ち、意欲的で創造性に富む人材の積極的な登用
- 2 女性職員の能力が多様な分野で発揮されるよう、また、将来の幹部職員登用も展望した、女性職員の積極的な登用と活躍の場の拡大に配慮した人事配置
- 3 市町村・地域の声を大切にする県政を展開するため、総合支庁等出先機関と本庁との交流の積極的な推進
- 4 人材育成の視点に立った、他県、市町村との相互交流や省庁・民間等派遣、研修派遣などの実施

II 主な組織機構の改正

“やまがた創生”を拡大・加速するための組織体制の整備

～ 県民生活の更なる安全・安心・豊かさを目指して ～

(1) 防災力の強化による安全・安心な県民生活の実現

□ 『防災くらし安心部』の新設

頻発・激甚化する自然災害等への迅速かつ的確な対応に向け、防災力をはじめとする総合的な危機管理機能の充実・強化を図るとともに、県民が地域で安全・安心に生活するための支援を強力に推進するため、『防災くらし安心部』を新設する。

□「危機管理監」の配置及び「危機管理広報監」の新設

有事における危機管理情報の一元管理及び初動対応等を的確に行うため、引き続き「危機管理監」を配置（防災くらし安心部長兼務）するとともに、正確な危機管理情報を県民に対し迅速に発信するため、「危機管理広報監」を新設（防災くらし安心部次長兼務）する。

□『防災危機管理課』及び『消防救急課』の新設

平時からの防災教育の充実、災害発生時の情報収集力・対応力の強化や広報の充実、消防業務の連携促進、救急業務の高度化の推進など、自助・共助・公助が一体となった「災害に強い山形県」の実現に向けた取組みを機動的かつ効率的に進めるため、危機管理課を改編し、『防災危機管理課』及び『消防救急課』を新設する。

□『消費生活・地域安全課』の改組

民法改正の成年年齢引下げ等に対応した消費者教育・啓発を推進するとともに、自転車安全利用の環境整備、犯罪被害者支援体制の強化等に向けた取組みをより一層推進するため、くらし安心課を『消費生活・地域安全課』に改組する。

（２）豪雨災害からの迅速な復旧

最上地域を中心に本県に甚大な被害をもたらした平成30年8月の二度にわたる豪雨災害からの一刻も早い復旧に向け、災害復旧事業を迅速かつ円滑に推進するため、最上総合支庁建設部河川砂防課に『最上豪雨災害復旧対策室』を新設するとともに、村山、最上、庄内の各総合支庁関係課の体制を強化する。

（３）県産品の更なる輸出拡大の推進

県産品（日本酒、工芸品、工業製品等）について、製造段階からマーケティング、国内外での販路開拓・拡大に向けた施策を一体的に推進するため、経済交流課を観光文化スポーツ部から商工労働部に移管し、『貿易振興課』に改組する。

(4) やまがた森林ノミクスの更なる推進

高性能林業機械の導入促進、ICTを活用した森林情報の高度化、林業技術者等の人材育成、再造林の加速化、県産木材の利用拡大など川上から川下まで総合的な取組みを推進し、やまがた森林ノミクスの加速化を図るため、林業振興課を『森林ノミクス推進課』に改組する。

(5) 文化・芸術の更なる振興

山形県総合文化芸術館の開館に向けた準備を着実かつ迅速に進めるため、山形県総合文化芸術館整備推進室を『山形県総合文化芸術館整備推進課』に改組する。

(6) 重要施策の推進に向けた調整機能の発揮

□「調整監（兼）次長」の新設

人口減少が急速に進む中、「オール山形」で移住・定住施策を展開するための外部団体の設立に向けた市町村、企業及び大学等との対外的な折衝・調整業務の増加への対応をはじめ、ICTの利活用によるイノベーションの創出、「いきいき雪国やまがた」づくりの推進に取り組んでいくため、企画振興部に部長級の「調整監（兼）次長」を新設する。

□「鉄道機能強化主幹」の新設

福島～米沢間のトンネル整備の早期事業化に向け、JR等との折衝・調整業務を円滑に推進するため、総合交通政策課に「鉄道機能強化主幹」を新設する。

(7) 内陸食肉衛生検査所の『置賜食肉衛生検査所』への改組

平成31年4月より山形市が中核市へ移行することに伴い、山形市区域のと畜検査等の業務を山形市に移譲するため、内陸食肉衛生検査所を『置賜食肉衛生検査所』に改組するとともに、位置を米沢市に変更する。

Ⅲ 人事異動の状況

(知事部局)

区分	31年度		(参考) 30年度	
	異動数	昇任者	異動数	昇任者
部長級	8名	6名	8名	4名
次長級	39名	24名	35名	18名
課長級	234名	67名	199名	61名
課長補佐級	440名	94名	497名	95名
主査級	403名	93名	345名	76名
係長級	275名	75名	256名	69名
一般級	253名		202名	
合計	1,652名	359名	1,542名	323名

(参考) 全任命

区分	31年度		(参考) 30年度	
	異動数	昇任者	異動数	昇任者
部長級	9名	7名	9名	5名
次長級	47名	30名	42名	22名

<女性役付職員の状況>

(知事部局)

区分	31年度		(参考) 30年度	
	職員数	昇任者	職員数	昇任者
部長級	2名(11.8%)	1名	2名(11.8%)	
次長級	4名(8.5%)	2名	4名(8.2%)	2名
課長級	51名(14.4%)	10名	46名(13.0%)	10名
課長級以上小計	57名(13.7%)	13名	52名(12.4%)	12名
課長補佐級	123名(15.1%)	30名	104名(12.6%)	18名
主査級	300名(35.2%)	39名	301名(34.9%)	31名
係長級	243名(34.1%)	28名	255名(34.9%)	31名
合計	723名(25.8%)	110名	712名(25.1%)	92名

()は職員数に占める女性職員の割合

【参考】県職員全体の女性管理職登用状況

区分	31年度		(参考) 30年度	
	女性職員数	昇任者	女性職員数	昇任者
合計 (課長級以上)	74名(11.5%)	17名	70名(10.8%)	17名

※学校に勤務する教員、医師を除く。

()は職員数に占める女性職員の割合